



Japan Arts Foundation

公益財団法人 日本文化藝術財団

## 2022 年度 『日本文化藝術奨学生』 応募要項

応募受付期間：2022 年 6 月 1 日（水）～ 6 月 15 日（水）

### ■趣旨

公益財団法人日本文化藝術財団は、日本の伝統文化および現代芸術の保護、育成及び振興を図るとともに、日本の文化・芸術の普及向上にこれまで貢献してまいりました。その取組みの一つとして、育英事業を実施しており、芸術系大学に就学する学生に対し「日本文化藝術奨学生」「加藤定奨学金」の2種の奨学金給付を行っています。この「日本文化藝術奨学生」は対象を大学院生のみとし、優れた技量・才能・将来性を評価し、支援しています。真摯に芸術に取り組み、将来の日本の文化・芸術の担い手となるであろう学生からの積極的な応募を期待しています。

※学部生については経済的支援を目的とする「加藤定奨学金」を募集しておりましたが、国による高等教育の無償化の方針のもと修学支援新制度がスタートし、給付型奨学金の大幅拡充が行われていることを受け、「加藤定奨学金」を廃止し、その原資を「日本文化藝術奨学金」に充て、採用人数も大幅に拡充することになりました。

### ■選考方法

応募用紙、推薦書、活動実績を示す資料を基に、選考委員会において審査し、理事会にて決定します。

### ■募集人数・奨学金

6名～10名 奨学金 50万円/1年間（2023年2月、7月の2回にわけて給付）

※2023年2月に開催の授与式（東京都内）に出席していただきます。

交通費につきましては当財団で負担します。

### ■対象

次の条件を充たし、文化・芸術のあらゆる分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる者

1. 国内の芸術系大学の大学院に就学しており、かつ次年度在籍予定者であること

2. 学業成績、生活態度共に優秀で、健康な学生であること

※ 当奨学金は他の奨学金との重複受給をみとめます。ただし、現在受給または申請中の他の奨学金で重複受給をみとめていない場合は、受給することができません。

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。

ただし、音楽部門は除く。

※ 別途定める指定校については、この限りではない。

※ 休学中は申請出来ません。

・ 対象となる芸術系大学 ※下記にない芸術系大学に在籍の場合はお問合せください。

愛知県立美術大学

秋田公立美術大学

大阪芸術大学

沖縄県立芸術大学

金沢美術工芸大学

京都工芸繊維大学

嵯峨美術大学

京都市立芸術大学

京都精華大学

京都芸術大学

神戸芸術工科大学

静岡文化芸術大学

情報科学芸術大学院大学

女子美術大学

多摩美術大学

東京芸術大学

東京工芸大学

東京造形大学

東北芸術工科大学

長岡造形大学

名古屋芸術大学

名古屋造形大学

文星芸術大学

武蔵野美術大学

・ 上記以外の指定校 ※下記大学の芸術分野は対象とします。

筑波大学

日本大学

広島市立大学

・ 対象となる分野

絵画 彫刻 写真 工芸 建築 庭園 メディアアート インスタレーション 空間デザイン

環境デザイン ファッションデザイン 工業デザイン コミュニケーションデザイン 映像

映画 演劇 ダンス 文芸 マンガ イラストレーション 書道 保存修復 前述分野の研究

その他音楽分野をのぞく文化・芸術のあらゆる分野

## ■応募方法

当財団ホームページの申請フォームにて応募してください。

[トップページ](#) > [奨学金](#) > [応募方法](#) > [オンライン申請](#)

※ 申請フォームは日本語で入力してください。

※ 入力情報に不備があった場合は、選考対象外となります



<http://www.jp-artsfdn.org/scholarship/jpartsfdn/>

※申請方法の詳細については、必ず申請マニュアルをご確認ください※

### 申請フォームについて

- ・ 申請フォームには受付期間のみアクセス可能です。
- ・ 入力項目は申請マニュアルを参考にしてご準備ください。
- ・ 登録したID・PASSでログインし、入力内容を編集することが可能です。
- ・ 提出（送信）後および受付期間終了後には、申請フォームにアクセスできなくなります。

### 入力事項（参考）

- ・ 基本情報（氏名・在籍校・活動実績等）
- ・ 申請事由等

### 申請時の添付提出資料 外部ストレージ等を利用してデータ提出

- ・ 在学証明書  
在学中の学校の発行するもの。休学状態での申請はできません。
- ・ 成績証明書  
在学中の学校の発行する最新のもの。1学年に在籍の場合は最終在学期が発行する最新のもの。
- ・ 推薦書  
担当教員からの推薦が必要です。
- ・ 活動資料  
作品画像、映像、論文等 ※「活動を示す資料 提出要領」をご確認ください。

### 紙媒体での提出を認める資料

写真集、小説、マンガ等、装丁まで含めて活動資料として審査すべき資料については、紙媒体での提出を認めます。ただし書籍の体裁をとった印刷物以外の作品現物の提出は受け付けません。ポートフォリオについては、既定の様式でまとめたもののみ受け付けます。希望する場合は、「活動を示す資料 提出要領」にしたがって提出してください。

## ■応募受付期間

2022年6月1日（水）～ 2022年6月15日（水）23：59まで

## ■結果発表

2022年11月

選考結果は応募者本人に対して電話または文書で通知します。（在学期・推薦教員への通知はしません）  
選考結果の理由に対するお問合せには応じかねますのでご了承ください。

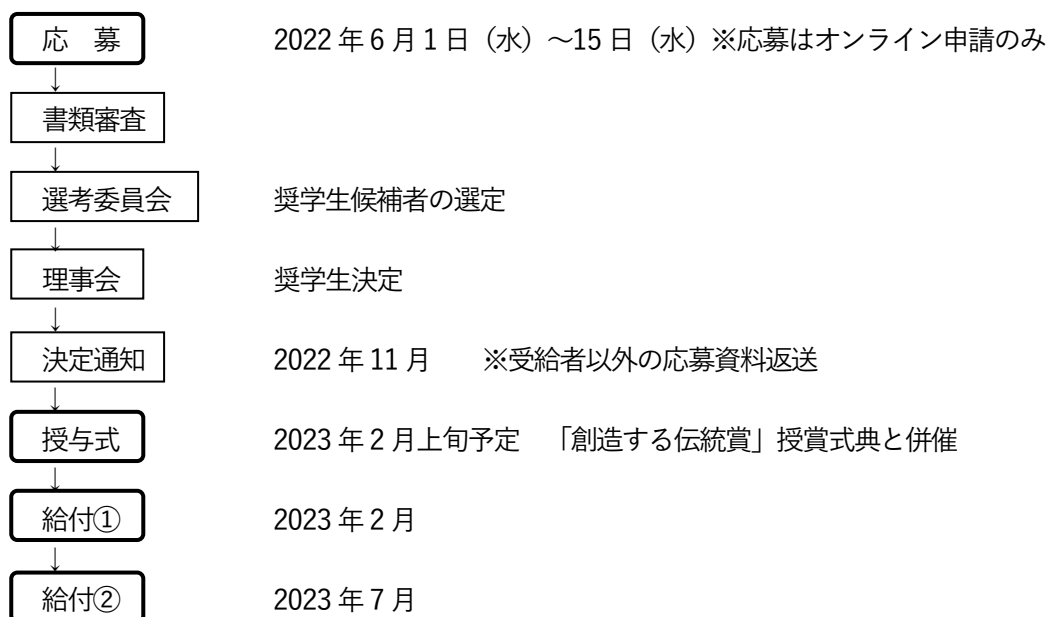
## ■報告義務

奨学金の用途については一切問いません。  
修了時に報告書を提出していただきます。

## ■個人情報について

当財団は、本育英事業の応募により取得した個人情報を、奨学生選考の目的で利用し、この目的に必要な範囲を超えて利用せず、また当財団の委員および役員以外の第三者に提供いたしません。

■応募から給付までの流れ



■奨学金選考委員

近藤 健一	森美術館シニア・キュレーター
杉浦 幸子	社会設計家(芸術文化領域)／武蔵野美術大学 教授
椿 昇	現代美術家／京都芸術大学 教授
寺脇 研	映画・落語評論家
成田 宏紀	(社)国際芸術文化振興会 理事兼事務局長
原田 大三郎	映像作家／多摩美術大学 教授
三瀬 夏之介	美術家／東北芸術工科大学 教授

(敬称略 五十音順)

□専門委員 ※今年度選考委員の専門外の分野からの応募の場合、専門委員に意見を求めることがあります。

池内 務	レントゲン藝術研究所準備室代表
大野木 啓人	空間演出家／京都芸術デザイン専門学校校長
金子 賢治	茨城県陶芸美術館 館長
唐澤 昌宏	国立工芸館館長
木村 博昭	建築家／国立大学法人京都工芸繊維大学 特定教授
熊倉 功夫	MIHO MUSEUM 館長
倉方 俊輔	建築史家／大阪市立大学准教授
中村 真規	演芸プロデューサー／大有企画 社長
花光 潤子	プロデューサー／NPO 法人魁文舎理事長
古山 正雄	前 国立大学法人京都工芸繊維大学 学長
村山 明	重要無形文化財(木工芸)保持者／日本工芸会 参与
茂手木 潔子	日本音楽研究／上越教育大学 名誉教授
山下 裕二	美術史家／明治学院大学 教授
山本 豊津	株式会社東京画廊 代表取締役社長

(敬称略 五十音順)

■問合わせ先

公益財団法人 日本文化藝術財団

〒160-0012 東京都港区北青山 1-7-15 (TEL) 03-6434-5546 (FAX) 03-6434-5547  
 (URL) <http://jp-artsfdn.org> (Mail) [jimukyoku@jp-artsfdn.org](mailto:jimukyoku@jp-artsfdn.org)

## 活動を示す資料 提出要領

「日本文化藝術奨学生」へ応募される際の『活動を示す資料』については、以下の要領に従ってご提出ください。提出できる活動資料は合計5点までです。活動内容にあった資料をご提出ください。

※ 活動内容の参考になる、特に重要なものを厳選して提出してください。

※ 確認に時間を要する資料は、特に注目すべき箇所がわかるようにして提出してください。

### オンライン申請

申請フォームの【活動を示す資料】欄に該当の URL を記載してください。

#### ■画像資料、誌紙掲載評論等、論文、映像・音源資料

- ・ 申請者のホームページや SNS 等の WEB サイトは 1 サイトを 1 点とします。ただし、動画共有サイト等にアップロードされた映像・音源については 1 作品を 1 点と数えます。
  - ・ 記事や批評などは、掲載サイトの該当ページ（数ページにわたる場合は先頭ページ）の URL で 1 点とします。複数のサイトの掲載記事をポートフォリオとして提出する場合は、PDF で保存するなど、1 つのフォルダにまとめてオンラインストレージ等にアップロードし、ダウンロードのための URL をお知らせください。
  - ・ 複数の作品画像などのデータをポートフォリオとする場合は、フォルダにまとめてオンラインストレージ等にアップロードし、ダウンロードのための URL をお知らせください。
  - ・ 映像資料等、確認に時間を要する資料については、注目すべき箇所がわかるように、申請フォームの【補足説明】欄にタイム等を記載してください。
  - ・ 論文等の長文資料については、注目すべき箇所がわかるように、テキストデータにマーカーする等で示し、申請フォームの<補足説明>欄にページ番号を記載してください。論文等で要約したものがある場合は、そちらを提出してください。
- ※ オンラインストレージ等を利用する場合は、ダウンロードの有効期限を必ず 1 週間以上で設定してください。
- ※ 有効期限のないクラウドストレージや共有サイトを利用する場合は、結果通知が届くまでは、共有データを閲覧できる状態にしてください。
- ※ 活動実績を示す資料のみ郵送等での提出を希望する場合は、下記「郵送等での提出」にしたがって申請フォームに入力した申請者名でお送りください。

### 郵送等での申請

装丁まで含めて活動資料として審査すべき資料については、書籍の体裁をとった印刷物のみ紙媒体での提出を認めます。その他の作品現物の提出は受け付けておりません。

ポートフォリオについては、既定の様式でまとめたもののみ受け付けます。

#### ■書籍の体裁をとった印刷物（写真集、小説、マンガ等）

- ・ 一冊を 1 点として扱います。
- ・ A3 以上のサイズのもの認めません。
- ・ 書籍・論文等長文資料については、注目すべきポイント（ページ番号等）を明記した任意の用紙、または要約を添付し、該当箇所に附箋を貼る等で明示してください。

## ■ポートフォリオ

- ・ A4 のポケットファイル（20 p程度）で作成してください。
- ・ 書籍やパンフレット等の綴じた資料はポートフォリオに入れないでください。ポケットファイルに入っている資料はポケットから取り出して閲覧しません。
- ・ 管理番号等を貼り付けるため、表紙に装飾を施さないでください。

## ■「活動を示す資料」の送付について

郵送または宅配便等で下記までお送りください。

封筒または発送伝票等の品名欄に【日本文化藝術奨学生 応募資料】と明記してください。

### 活動を示す資料 送付先

公益財団法人 日本文化藝術財団

〒107-0061 東京都港区北青山1丁目7-15 Tel : 03-6434-5546

## ■「活動を示す資料」の返却について

- ・ 選考終了後、申請時に入力された申請者の住所へ郵送または宅配便でご返却いたします。
- ・ 応募者数により、返却にはお時間を頂く場合があります。
- ・ 奨学生に選出された場合、資料は当財団で奨学生資料として保管するため、返却できません。
- ・ 資料の付属品で外れやすいもの（書籍の帯など）については、テープ等で本体に張り付けるなど加工することがあります。ご了承ください。
- ・ 応募資料の取り扱いについては十分に注意致しますが、万が一の事故に対する責任は負いかねますのでご了承ください。